

CLOSE 月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始

～昨年「夏休み自転車教室」開催の様子～

寄贈資料の紹介

- ・ 高橋博様（東京都） 『やわたはま国際MTBレース2015』プログラム 1点
『やわたはま国際MTBレース2015』切手シート 1点

自転車文化センターでは、寄贈された貴重な資料を大切に保管し、テーマ展示等を通じてご覧いただける機会を設けております。

新着図書のご案内

- 「ぜんぶわかる!最新ロードバイクメンテナンス」(福田貴也 著 / 学研パブリッシング)
- 「田園発 港行き自転車上・下」(宮本輝 著 / 集英社)
- 「まちがいだらけの自転車えらび～幸福な自転車乗りになるための正しいロード～」(エンゾ早川 著 / 双葉社)
- 「クロスバイク Style 欲しい一台が必ず見つかる!購入完全ガイド 36 ブランド 20 vol.2」(コスミック出版社)
- 「ロードバイクメンテナンスの超基本～これさえ読めばトラブルで困らない!エイムック～」(柵出版)
- 「十九世紀イギリス自転車事情」(坂元正樹 著 / 共和国)
- 「頭脳で走るロングライドの実践術～センリヤクの長距離サイクリングの極意 50～」(田村浩 著 / 誠文堂新光社)
- 「ほんとうに幸福な自転車乗り～ロードバイクについて森幸春さんと話したこと～」(エンゾ早川・ 森幸春 著 / 双葉社)
- 「折りたたみ自転車&スモールバイクカタログ最新モデル満載!超必読の小径車カタログ 2015」(辰巳出版)
- 「MTB メンテナンス最新版～自分でできるメンテナンスのすべて最新Xエイムック～」(柵出版社)
- 「ロードバイクパーツカタログ“オンリーワン”を目指すローディー必携カタログ!2015」(柵出版社)
- 「MTB&パーツカタログ“これしかないな”MTBは必ず見つかります!2015」(柵出版社)
- 「旅する自転車ランドナー&スポルティーフの本」(柵出版社)
- 「Sports Bicycle Start Book2015～自転車選びのコツから初心者 OK のレースまで～」(宝島社)
- 「サイクルパーツオールカタログ 2015～2016」(八重洲出版)
- 「ロバはまだ自転車に乗って～シチリアからアムステルダムまでヨーロッパ」(石岡通孝 著 / 未知谷)
- 「'15ロードバイクメンテナンス」(マガジンボックス)
- 「FOLDING BIKE～ブルーガイド・グラフィック自転車・特別～」(実業之日本社)
- 「弱虫ペダル」39～40 巻 新版 (渡辺航 著 / 秋田書店)
- 「風のヒルクライム～ぼくらの自転車ロード物語の王国～」(加藤鈴子 著 / 岩崎書店)
- 「超はじめてのロードバイク～ゼロから始め～」(辰巳出版)
- 「自転車日和～お散歩から旅気分まで、思いっきり楽しむ!」 Vol.36 (辰巳出版)
- 「Made in England:The Artisans Behind the Behind the Handbuilt Bicycle—Hardback 」(Push Projects Ltd)

「BCC友の会」会員募集中♪

自転車に関する書籍など、約 9000 冊を所蔵しています。会員登録をしていただいた方に限り、図書の自由閲覧をすることができます。
会員各位におかれましては、ご友人様などご紹介頂けたら幸いです。

「BCC友の会 1 日利用システム」♪

現在、みなさまにもっと当センターを活用して頂きたく【1 日ご利用システム】を設置しております。
是非、ご利用してみたいかがでしょうか!?
ご利用の詳細は、BCCHP 又は BCC までお問い合わせ下さい。

< BCC 休館日のお知らせ >

★月曜日休館(祝日は開館し翌平日が休館となります)

8 月 3 日・10 日・17 日・24 日・31 日

9 月 7 日・14 日・24 日(木)・28 日

10 月 5 日・13 日(火)・19 日・26 日

科学技術館入館チケット(招待券)プレゼント!

科学技術館(千代田区北の丸公園)「2F 自転車広場」には、当センター所蔵の歴史的自転車などの常設展示を引き続き行っております。ぜひお立ち寄りください。

♡友の会会員の方に科学技術館入館チケット(招待券)を先着 10 名様(お一人様 2 枚まで)に差し上げます。
自転車文化センター(目黒)にご来館のうえ、インフォメーションカウンターまで、お申し出ください。

自転車ステージレースの設営 ～Le Tour de Langkawi 2015～

BCC 中野俊喜

昨今の自転車ブームで「自転車ロードレース」などの言葉を聞く機会が多くなってきたのではないのでしょうか？本会（日本自転車普及協会）が事務局を務める自転車ステージレース「TOUR OF JAPAN」も、今年はどの会場も大盛況でした。来場下さった皆様に御礼申し上げます。
本稿では、今年3月にマレーシアで行われたアジア最高峰のステージレース「Le Tour de Langkawi 2015」に研修に行きましたので友の会の皆様にその一部をご紹介しますと思います。



Le Tour de Langkawi チームプレゼンの会場

この「ツール・ド・ランカウィ」は今年20回目を迎え、UCI（国際自転車競技連盟）公認アジア最高峰のステージレースとして知られており、カテゴリーはUCI 2.HCに属しています。（TOUR OF JAPANはUCI 2.1）2というのはステージレースの事を表しており、HCというのは、このレースのカテゴリーを表しています。このカテゴリーによりチームの選定の基準等が決まります。

主催はKBS（マレーシア青年スポーツ省）、HUMAN VOYAGE社（スポーツイベント管理会社）、マレーシアナショナル自転車競技連盟です。今年は昨年度まで国営で行われていましたが民間に変わり、メインはHUMAN VOYAGE社となりました。

海外のレースでは、レースのTV放映権やスポンサー収入、レースの誘致料などでレースを運営しているところが多いです。Le Tour de LangkawiもTV放映権を持っており、メインスポンサーは国内自動車メーカーの「PROTON」（写真1）国を挙げてレース運営をしていました。（写真2）



写真1 大会関係車両 スポンサーの「PROTON」社のもの。関係車両は全部で350台ほど



写真2 最終st マレーシア首相も来場

レースの日程は以下の通りです。

日程	行事、ステージ	3/11	Stage 4 / コタバル・クアラブランク
3/7	チームプレゼンテーション/プレスコンファレンス	3/12	Stage 5 / クアラトレンガヌ・クアンタン
3/8	Stage 1 / ランカウィ レースコントロールミーティング	3/13	Stage 6 / マラン・カラック
3/9	Stage 2 / アロースター - スンガイパタニー	3/14	Stage 7 / シャーアラム-※ フレイザーズヒル (ゲンティンハイランドから変更)
3/10	Stage 3 / グリクータナ - メラ	3/15	Stage 8 / クアラルンプクブコタバル - クアラルンプール

皆様が普段テレビで見られている「ツール・ド・フランス」などのレースでは設営チームがどんな動きをしているのでしょうか？試合を見に会場に行った際には、既にほとんど出来上がっているの、ご存じの方はごく一部の方だけではないでしょうか？

このLe Tour de Langkawiの設営チームでは、コースの設定や設営を行うグループで、今大会では3班に分かれ、総勢30名ほどで構成されています。（写真3）

・夜間設営チーム（写真4） レース開催前夜にコース案内看板や、各ポイント看板の設営を行います。前日23時頃出発し、翌日10時頃までにスタート→ゴールまでの案内看板、ゴール→ホテルまでの案内看板

を設置します。

・当日確認チーム（写真5）今回我々をアテンドしてくれたベラ氏（Routing 責任者・UCI コミッセル）を中心に看板の設置場所等を確認しました。GPS も活用し距離を計測します。この確認がレース前の最終確認で、この段階で距離等の微修正、破損している看板は交換します。

・撤収チーム（写真6） レース終了後に看板の撤収を行うチームです。チームには警察（写真7-1・2）も含まれており、当日のコース確認においてはパトカー（オフィシャルカー）の先導の元、行われています。

私は夜間設営チーム（第7st）、当日確認チーム（1. 2. 3. 4. 6st）に同行させていただきました。中でも研修中一番辛く、過酷だった夜間設営チーム（第7st）の事について少しご紹介したいと思います。夜間の設営に関しては3チーム（ハイエース2台で1チーム）で行いました。コースの順路の矢印を設営、コースの確認をしましたが、フレザーズヒルへのコース変更に伴い105.7kmから180.8kmに距離が延び、現場はバタバタでした。

22時半にホテルを出発しスタート地点へ向かい、そこからゴール地点へ向かいました。どのステージもコース周辺には家畜を飼っている農家が多数あり、今年のツール・ド・フランスでもありましたが、コース上に牛が出てくる珍事件もありました。それらの関係で途中コース上に砂利（写真8）が大量に落ちていたところもあり、それらの撤去作業にはかなり苦戦をしました。

ゴール地点に到着したのは翌朝7時半（写真9）。休む暇もなくレース終了後ホテルまでのルート矢印を設営行いました（写真10）。その日すべての作業が終了したのは12時過ぎ。約14時間の作業でした。我々も TOUR OF JAPAN をしていますが、ラインレース（町から町へのレース）になるとこんなに大変なのかと思うとスタッフの方々には、本当に頭が上がりません。

今回ご紹介した「Le Tour de Langkawi 2015」まだまだ皆様にお見せ出来ていない所が多々ございますが、これを期に、レースと合わせてこのような設営等のレースの裏側も見ていただけると、より一層レースを楽しめるのではないかと思います。



写真3 設営チーム



写真4 夜間設営チーム



写真5 当日確認チーム

修正箇所があれば随時修正



写真6 撤収チーム 先導車
（警察車両）が付く



写真7-1 警察車両
毎ステージ70~90台の白バイが
コース整理にあたる。また各交差点
にも配備している。



写真7-2 マーシャル
警察と同様の権限を持ち、交通
整理にあたる他、コミセール、
メディアを乗せ走る



写真8 コース上の砂利。
送風機、スコップ、ほうきにて
掃出し作業
スタートから約20Km 地点



写真9 ゴール地点に到着
すでにステージ等の設営は出来て
いる。



写真10 休む間もなくホテル
までの矢印設営。

事故防止対策のための路面標示あれこれ

BCC学芸員 谷田貝一男

道路には各種車両や歩行者が事故を起こさないで通行できるための対策として、標識の設置の他に路面標示という方法があります。標識は全国统一されていますが、路面標示は自治体によっていろいろなデザインがあり、そこから事故防止のための工夫が読み取れます。最近見つけた路面表示を紹介します。

1. 「止まれ」表示

警視庁管内で平成26年に発生した自転車事故12666件のうち、発生個所として交差点並びに交差点付近での事故が9294件73.3%、発生原因として出会い頭の事故が5091件40.1%になっています。自転車は交差点での一時停止実施率が低く、その結果がこの数字として表れています。

交差点での一時停止を促す路面標示の多くは、写真1の停止線と「止まれ」が書かれたものです。また自転車専用として写真2の三角形の中に自転車のイラストと「止まれ」が書かれたものもあり、写真3のように「止まれ」の標識の他に「止まれ」「自転車止まれ」「停止線」が一緒に描かれた交差点もあります。



写真1 北区



写真2 新宿区



写真3 中野区

しかし、自転車に対して一時停止効果が低いため、この「止まれ」を強調させたいろいろなタイプの路面標示があります。写真4～7に紹介したのは「止まれ」の文字を枠で囲み、その中に赤茶の配色を施したり、青色の中にイラストを施したりしています。また写真8のように交差点を意識させるタイプもあります。



写真4 杉並区



写真5 川越市



写真6 川越市



写真7 杉並区



写真8 志木市

2. 二輪車と四輪車の停止線の位置

ヨーロッパでは写真9のように、自転車の停止線の位置が他の車両の停止線の前に設定されている交差点が多くみられます。これは信号が赤から青に変わり発進する際、自転車の巻き込みや他の車両との接触を防ぐための対策として設定されています。日本でも写真10のようにバイクを含む二輪車の停止線を四輪車の停止線の前に設定されている交差点があります。自転車の右折は日本では2段階式のため、直進時と左折時の発進時における巻き込みや他の車両との接触を防ぐ役割を果たします。



写真9-1 オランダ アムステルダム市



写真9-2



写真10-1 川越市



写真10-2



写真10-3

3. 環状交差点での自転車通行誘導マーク

6月1日の道路交通法改正で、14の危険行為の中に「環状交差点安全進行義務違反」が盛り込まれました。ラウンドアバウトとも呼ばれる円形交差点で、信号機はなく交差点に入る際には徐行し、交差点の中を時計回りにまわる車両に通行の優先があります。

ヨーロッパではこの環状交差点が多くみられ、車両通行路の外側に自転車通行路、さらにその外側に歩道が設定されています。**写真１１**では車両も自転車も反時計まわりの一方通行ですが、**写真１２**では自転車に限り双方向通行になっています。双方向通行では通行方向が路面標示されていますが、一方通行路では進行方向を示す路面標示はありません。

日本でも環状交差点が増えています。**写真１３**は長野県軽井沢町にある環状交差点で、車道の外側に柵を挟んで歩道があります。従来は通常の六差路交差点でしたが、２０１２年１１月１３日から環状交差点として利用されています。環状部分に入る際には一時停止し、環状部分に入ると車両は車道を、自転車は車道の歩道寄りをいずれも時計まわりに進行します。この進行方向を示すために標識の他、路面標示が車両用と自転車用にそれぞれ設置されています。また交差点を構成する六方向の道路の交差点直前には「止まれ」と進行方向表示の標識と路面標示が設置されています。

通行状況を見ると、車両はすべてゆっくりと時計方向にまわりながら右折左折並びに直進していますが、自転車は歩道通行、短路として反時計まわりの通行など様々です。環状交差点での通行方法が周知されていないことや、自転車の通行路を示す路面標示が横断歩道を通過した直後の交差点進入直前から始まっていることも原因の一つと考えられます。



写真 11-1 オランダ オス市



写真 11-2



写真 12 オランダ デンボス市



写真 13-1 軽井沢町



写真 13-2



写真 13-3



写真 13-4



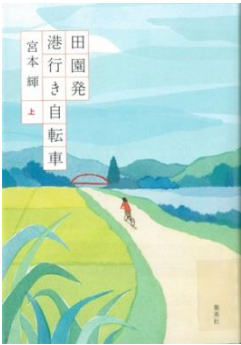
写真 13-5



写真 13-6

[文芸]

田園発 港行き自転車 上・下 宮本輝著 集英社 各1600円＋税



急流の黒部川を背に、右に立山連邦、左に富山湾、その山裾の丘陵地を自転車で巡る旅。読み進みながら頭の中に富山の田園風景が再現されていきます。その旅が15年前、宮崎にいるはずのカガワサイクル社長がJR滑川駅改札口横で急死していた謎と関係していたのです。亡くなった社長を軸に4家族が複雑に絡み合い、さらに謎の裏には男子中学生の存在という秘密が隠されているのです。富山、東京、京都を舞台にやがて4家族の関係とともに謎も明らかになり、最後は富山で大団円を迎えます。家族のつながりと自然の風景、それを結んでいるのが自転車でした。

風のヒルクライム 加部鈴子著 岩崎書店 1300円＋税

13歳の誕生日に、父親からロードバイクを贈られた涼太。欲しくもなかったのに、父親のやり方に反発し、その勢いでヒルクライムレースに出ることになったのです。いざスタートしてみると、医師である父親のかつての患者であった女子中学生、小学生のときからロードレースに出場している男子中学生、学生服に白ヘルメットをかぶり通学用自転車で出場し、抜群の脚力で注目を浴びる男子高校生などがいました。各人10代ならではの気持ちの葛藤を抱えながらのレースでしたが、最後はその葛藤が横のつながりとなってゴール。読んでいて楽しくなる物語です。



[実践]

頭脳で走るロングライドの実践術 田村浩著 誠文堂新光社 1500円＋税



サイクリングの本質は「走る」ことで、その結果として「距離」が達成感や充実感のバロメーターになり、誰もが追及できる目標になるのです。その「距離」を伸ばしていくには人並みはずれた体力や根性ではなく、装備やプランニングという知識と経験です。したがって1日の走行距離が100kmを超えるロングライドの魅力や可能性を広げるカギは誰でも手に入れることができると著者は述べています。著者自らの経験を基にした戦略的ロングライドの極意を50か条にしてまとめられています。著者の指南術は常に分かりやすく、楽しく実行できる特徴があります。

おやこで自転車はじめてブック 疋田智監修 子どもの未来社 1000円＋税

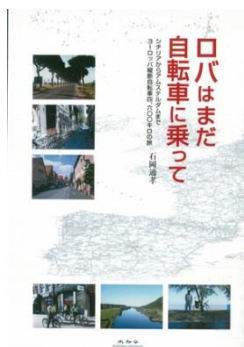
幼児を自転車に乗せて街中を通るママの姿をよく見かけます。時には見ている方がハッとするような運転をしているママもいます。その結果として自分だけでなく子どもも事故に巻き込んでしまいます。子どもが成長し、自ら自転車に乗りたいと言い出したとき、どのようにして乗れるように指導したらよいのか、一人で乗れるようになったとき、子どもに安全な乗り方として何を教えたらよいのか、迷うこともあるでしょう。同時にママも正しい乗り方を再確認しましょう。こうした時に、本書はイラスト入りで丁寧に指導法が書かれていま



すので必ず役立つはずですよ。

[紀行]

ロバはまだ自転車に乗って 石岡道孝著 未知谷 2500円＋税



2012年6月17日にイタリアのローマを出発し、スロベニア、ハンガリー、スロバキア、オーストリア、ドイツを通り、9月19日にオランダのアムステルダムに到着するまでの7カ国、4649kmを自転車で巡った95日間の日記風の記録並びに感想を綴ったものです。このような自転車に乗りながら世界を巡り、各国の人々との出会い、食事、国情などを綴った本はこれまでも数多く出版されています。同じ国でも季節や著者の体験によって異なった様子が見えてきます。一般の観光ガイド本にはない、自転車を通してしかない発見がある紀行本といえます。

[道路]

道路の日本史 武部健一著 中公新書 860円＋税

邪馬台国の時代には獣道しかなかった日本列島が、奈良時代に幅12mの直線の道が全国に張りめぐらされ、駅馬の制度が設けられました。その後、鎌倉幕府による「鎌倉街道」のネットワーク、織田信長の幅三間半の公道規格、事優先から利便性重視への転換など道変わってくることが分かります。このこかもその背後には三島通庸、大久保謙之人のドルシュなど、個性あふれる人物のられたことが分かります。



江戸幕府の五街道整備による軍路の制度整備は政治的な節目では明治以降も変わりがなく、し丞、田中精一、田中角栄、ドイツ手によって道路建設が成し遂げ

[レース]

敗者たちのツール・ド・フランス マックス・レオナルド著 安達真弓訳 辰巳出版 1800円＋税

ツール・ド・フランスで総合成績1位の選手に贈られる黄色のジャージ「マイヨ・ジョーヌ」は自転車レースに興味のある人でしたら、誰でも知っています。では赤色のジャージ「ランタン・ルージュ」を知っている人は少なに贈られる、ある意味で最も不名誉な年に「マイヨ・ジョーヌ」と一緒に制ことは独特の魅力があり、多くのファマス。本書は「ランタン・ルージュ」珍しい本です。



いでしょう。総合成績最下位の選手賞とも言えます。しかし、1919定され、現在まで続いているというンを惹き付けている結果とも言えを獲得した選手に焦点を合わせた

自転車文化センターは、競輪の補助を受けて事業を行っております。

